

資料2-3

レセプト分析について

令和7年9月 薬務課監視係

- 令和4年度は、福岡県におけるジェネリック医薬品の促進策を講じるにあたって、ターゲットを明確化し、効果的なアプローチを実施する対象や課題を明らかにすることを目的として、**医薬品品目別の使用数量に着目**して、レセプトデータ（KDBデータ※）を分析を行った（2018年～2020年度）。
- 令和5年度は、厚生労働省による後発医薬品使用割合の「見える化」事業により、NDBデータ※※を用いた後発医薬品使用割合データが都道府県に提供され、当協議会において解析結果を報告してきた。

※ KDBデータ：福岡県後期高齢者医療広域連合、福岡県国民健康保険団体連合会の保有するレセプト請求に係るデータ（都道府県レベルのデータベース）。

※※NDBデータ：全国全ての公的医療保険のレセプト請求に係るデータ。

令和7年度の当事業について

- 利用可能な最新のデータベースを用い、金額ベースのデータ等へのアプローチを検討したい。
 - ・特定の薬効群（例：PPI、ARB）について、金額ベースで使用割合の高い成分
 - ・二次医療圏ごとに、後発医薬品に切替えた場合の医療費削減効果 等